

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	1期	森下 友雄		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として損傷などの正しい評価・治療法等が行える為に、「損傷」に関わる骨・筋肉・神経の生理的要素を把握する。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に、骨、筋、神経機能等に依る生理的要素の知識を習得すると共に、臨床現場で起こる損傷や障害に対して、それらを念頭においた説明ができる知識を身に付ける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 骨の生理的機能等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 2. 筋の生理的機能等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 3. 神経の生理的機能等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 4. 靭帯の生理的要素に関する損傷や障害について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
1年次に学んだ生理学が実際に起こる損傷や障害に結びつくため、骨・筋・神経の生理学を復習することが必要になります。							
教科書・参考書							
生理学第4版, 柔道整復学理論編第6版							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	骨の生理的要素①				生理学	講義プリント配布	
第2回	骨の生理的要素②				〃	〃	
第3回	筋の生理的要素①				〃	〃	
第4回	筋の生理的要素②				〃	〃	
第5回	神経の生理的要素①				〃	〃	
第6回	神経の生理的要素②				〃	〃	
第7回	損傷・障害と生理的要素の総まとめ①				〃	〃	
第8回	損傷・障害と生理的要素の総まとめ②				〃	〃	
第9回	損傷・障害と生理的要素の総まとめ③				〃	〃	
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
8年前から現在も整形外科で勤務していることから、柔道整復術の適応の判断となる知識について学生さんに伝えていきたい。							
メールアドレス							
morishita@nihonisen.ac.jp							